

なつかしいほいくえんでのプール

わたしは、6月3日にほいくしょのこうりゆうをしました。2時間目から3時間目まで、水あそびを楽しみました。

さいしょに、かいかいしきをしました。自分の名前と今学校でがんばっていることをはっぴょうしました。ほいくえんじは、名前と好きなものをいってくれました。

その後に、ほいくえんの先生のせつ明を聞きました。つぎに、水でつぼうをもつてプールにいきました。水はふつうのくつ下くらいしかありませんでした。けれど、みんながうってくる水で体がひやくなってきました。先生をいっぱいうちました。りゆうきくんの水でつぼうがひやかったです。プールから出て、シャワーをあびてもひやかたです。きがえてへいかいしきをしました。

ひさしぶりに、ほいくえんに行つてむかしのことを思い出しました。みんなと楽しくあそんだことを思い出してうれしかったです。



(三浦小学校 2年 野並 希以)

幡多青少年の家での宿泊体験学習

5月に僕たち1年生42名はみんなとの絆を深めるために1泊2日で幡多青少年の家に宿泊体験学習に行きました。

1日目のメインは「ウォークラリー」でした。各班ごとに協力してスタートからチェックポイント5カ所をコンパスと地図を使って回っていききました。暑かったですが友達と話したり笑ったりとても楽しかったです。

2日目は海でシーカヤックに挑戦しました。なかなかうまく乗れなかったけれど乗り方を教えてもらってとても楽しかったです。夕方はバーベキュー、キャンプファイヤーを楽しみました。

この2日間で協力することの大切さや黒潮町の良さも発見できました。7月には総合的な学習の時間で「ホエールウォッチング」にも行く予定です。1年生のテーマは「黒潮町の良さを見つける」ことです。みんなが楽しみながら学習を深めていきたいです。



(大方中学校 1年 喜多 理仁)

俳句甲子園を終えて

大方高校有志生徒で、俳句甲子園に出場してきました。

私は高校1年生の時に、初めて本格的に俳句に触れました。たった十七音で、季語を入れるというルールを守りながら、自分の思いを表現する。とても難しいと感じたことを覚えています。実はそれは今も同じです。難しい、でも、面白い。いろいろな大人の協力を借りて、高校内で俳句仲間を見つけて、思い切つて俳句甲子園にチャレンジしました。

結果は2勝1敗で準優勝。残念ながら全国大会には行けませんでした。参加した皆が、楽しかった、勉強になったと言っており、とても良い思い出になりました。



(大方高校 3年 宮川 愛彩)